Kumamoto City
News Release

令和 8 年(2026 年）11 月 16 日

市民のみなさまへの注意喚起
～つつが虫病患者の発生について～

令和 8 年（2026 年）11 月 13 日に、熊本市内の医療機関から熊本市保健所に対し、つつが虫病患者の発生届が提出されました。患者は熊本市在住の 50 歳代女性で、熊本市在住者としては、令和 8 年初の患者発生です。なお、本市における患者の発生は、令和 7 年（2025 年）12 月以来です。

つつが虫病は、ツツガムシの幼虫に刺されることにより感染するため、感染予防対策としてツツガムシの幼虫に刺されないようにすることが重要です。

1　患者に係る情報

50 歳代、女性、熊本市在住

2　経過

11 月 3 日頃、畑で作業中に虫に刺された。

11 月 10 日に 38.7℃の発熱、11 月 11 日には全身に発疹が出現。11 月 12 日に頚部の腫れが見られた。11 月 13 日に医療機関 A を受診したが、すぐに医療機関 B を紹介され外来受診。熊本市環境総合センターでの検査の結果、つつが虫病と判明し、同日医療機関 B から熊本市保健所へ発生届が提出された。患者には行動履歴等の聴き取りを行い、感染原因の調査を行うとともに、感染予防対策について説明を行った。

3　つつが虫病患者の発生状況（令和 8 年（2026 年）第 1 週から第 45 週まで）

全国	85 件
熊本県 （本市含む）	0 件
熊本市	0 件

※国の基準により、令和 8 年（2026 年）1 月 1 日を含む週を第 1 週としています。
※本事例は、第 46 週（令和 8 年（2026 年）11 月 9 日から 11 月 15 日まで）に計上されます。
※今回の患者は、熊本市在住者として令和 8 年（2026 年）第 1 例です。

（裏面あり）

４　つつが虫病について

つつが虫病は、つつが虫病リケッチアによる感染症で、ダニの一種であるツツガムシの幼虫に刺されることにより感染します。潜伏期間は 5～14 日で、発熱、発疹、刺し口が主な症状です。重症化すると多臓器不全を引き起こし、死亡することがあります。

５　つつが虫病の予防対策

感染予防対策としては、ツツガムシに刺されないようにすることが重要です。野山などに立ち入る際は、以下のことに注意してください。

（1）長袖、長ズボンを着用し、肌の露出を少なくする。
（2）足を完全に覆う靴を着用する。
（3）虫よけ剤を使用する。
（4）野外活動後は早めに入浴し、ダニが付着していないか確認する。

【お願い】
報道機関各位におかれましては、個人情報保護の観点から、患者及び患者家族等について、本人等が特定されることがないよう、格段のご配慮をお願いします。

【お問い合わせ先】
健康危機管理課
電話：096-364-3311
課長：坂本　まゆ（さかもと　まゆ）